

令和7年度 評価委員会の開催内容

公 園 名	新潟県スポーツ公園	県立植物園	大潟水と森公園
開 催 日 時	令和8年3月16日〔水曜日〕 14時00分～15時15分	令和8年2月18日〔水曜日〕 10時00分～12時00分	令和8年3月10日〔火曜日〕 13時30分～15時00分
開 催 場 所	デンカビッグスワンスタジアム 控室2	植物園 花と緑の情報センター研修室	大潟コミュニティプラザ 中会議室
評 価 委 員	5名	5名	7名
内 容	新潟県スポーツ公園（園地・スタジアム・野球場）の管理運営の実施状況及び利用状況、内部評価結果について説明を行い、その後、意見・評価をいただいた。	植物園の管理運営の実施状況及び利用状況、内部評価結果について説明を行い、意見・評価をいただいた。その後、観賞温室等の施設見学を実施した。	大潟水と森公園の管理運営の実施状況及び利用状況、内部評価結果について説明を行い、その後、意見・評価をいただいた。
評 価 意 見 要 望	●スタジアム・野球場だけでなく、公園自体も素晴らしいのだということを積極的に情報発信していけるとよい。 ●利用者数を内部評価項目としているが、『入場者数が多い＝評価が高い』ではないと考えている。施設を整備した一番の目的は「スケートボードをする場所がない」との声に応えたものと認識している。利用者数にこだわり過ぎず、利用者が快適に過ごす場を提供する、適正な人数の中で安全に配慮した運営を行うことをもっと評価するべきではないか。 ●Jリーグ開催時の違法駐車について、公園線の違法駐車はほとんどなくなった一方、第一駐車場前の旧道に送迎車等の路上駐車が散見される。歩行者や自転車での走行に危険が及ぶため対策を講じてほしい。 平日も含めエコスタジアムでイースタンリーグの開催日数が増え、例年駐車場の問題から大会やイベントが重ならないよう調整されていたが、これからはそうもいかなることが予想される。駐車場付近の安全対策や近隣の渋滞対策など、公園として警備等の基準を示す必要があるのではないか。 ●新潟県が推進する「健康経営」等を踏まえ、公園でも県民の健康増進に寄与する取り組みを行うことは出来ないか。 健康増進の意味合いでは、新潟市も「ウォーカブルシティ」を推進している。公園においても歩き方教室の開催等が出来るといいのではないか。 ●スタジアムの座席表示（観客席の座席背面、全体マップ等）がわかりにくいので、もう少し工夫してほしい。	●温室の雨漏りは新潟県へ強く要望していくべきである。 ●改修や種の保全を行うとよいのではないか。 ●今後はボランティアマネジメントも重要であり、ボランティアが喜んで参加できる工夫などができると、植物園としての魅力も増していく。ユニフォームなどもつくとよいのではないか。 ●この時期に来るとこれ（例：富山のチューリップ）というように、30周年を機に名物を作り、来たかいがあったと思うような植物園にしてほしい。 ●秋葉区内に障害者の就労支援を行っている団体があるので、除草などで活用してほしい。 ●今年のターシャ・テューダー展だけでなく、毎年テレビ局などと連携して企画展示を行った方がよい。新津美術館とも連携して企画展示するとよい。 ●新潟の工芸品（小千谷縮、村上市羽越しな布など）など、生活と植物が密接に結びついていることを紹介するような展示も行ってほしい。 ●花の観賞の仕方などを学ぶオンライン講座を行うと、来てもらえるきっかけづくりになるのではないか。園芸の歴史を学ぶ講座など通の育成が大事である。 ●新潟県指定文化財 八珍柿の原木の保全について、種を守るというのは植物園の本来業務であるはずであり、植物園としても関わっていくべきである。原木の移植が難しい場合でも、接ぎ木などによってクローンを残すことが重要である。 ●GREEN×EXPOは参加者を募ってツアーを組むという取り組みを行ってもいいのではないか。 ●植物標本をきちんと保全・活用してほしい。石澤先生の標本は県内に残すことに意義がある。 ●AIを活用し、業務効率化を図るべきである。 ●イベントの内容が充実しているようで、アンケートでもイベントを目的としている人が多い。どんなイベントを開催してほしいか、そのイベントを知ったきっかけなどアンケートを活用できるとよい。	●公園管理は概ね適切に行われていると評価され、管理上の問題点を指摘する意見は特に出されなかった。 ●炊事棟の利用料金については、近隣施設の状況等を踏まえ、引き上げを検討してもよいのではないか。 内で発生する自然素材を活用したオリジナルグッズの制作・販売を検討してはどうか。 ●小学校の遠足等での利用が多いことから、蜂など危険生物による被害への懸念が示され、発見時には速やかな駆除などによって安全を確保してほしい。 ●委員（新潟県生態研究会）から、昨年、園内において非常に希少な植物が確認されたとの報告があり、今年度も引き続き調査を実施する旨の説明があった。 ●事務局から、令和8年度が開園25周年に当たることから記念事業の実施を検討している旨を説明し、事業に対する協力を依頼した。

		●金津小学校は毎年9月の全校遠足の際の学習や、文化祭の日の「金津文化の日」のスタンプラリーなどに協力してもらえるとよい。 ●新潟薬科大学が金津の魅力を伝えるという活動（里山部会）を行っているので、連携できるとよいのではないかな。 ●N b S（Nature-based Solutions）の観点から、県民のウェルビーイングにつながる植物の活用を考えることが求められる。 ●楽しくなければ人は集まらない。「何が楽しいのか」を追求して植物園を運営してほしい。	
評 価 点	A【91.75点】	A【83.0点】	A【85.73点】
	評価点の基準 A：85点以上 B：70点以上84点以下 C：50点以上69点以下 D：30点以上49点以下 E：29点以下	評価点の基準 S：93点～100点 A：80点～93点未満 B：70点以上80点未満 C：60点以上70点未満 D：50点以上60点未満 E：50点未満	評価点の基準 S：93点以上 A：80点以上93点未満 B：70点以上80点未満 C：60点以上70点未満 D：50点以上60点未満 E：50点未満